

# 重点施策

防災・減災対策、未来のまちを担う人づくりへの教育事業、子育て支援、さらには本市の特性を生かしたまちの誇りに繋がる施策を継続し、社会保障費の増加、公債費などの義務的経費増加の影響からくる厳しい歳出環境を踏まえながらも、市民協働で創造性豊かなまちづくりを行うための予算編成となっています。



## I. 防災・減災対策

- ◇自主防災組織育成事業費助成金／500万円【新規】  
各地区の自主防災組織が自ら実施する防災事業に対して補助
- ◇危機管理情報共有システム導入／265万円【新規】  
災害時における迅速な災害情報の収集・発信等のシステム整備。平常時にはメールシステムを活用し、行政のイベント情報などを市民の皆さんへ配信
- ◇津波時避難拠点地整備基本設計／1,030万円【新規】  
港・初島地区の津波避難拠点地整備
- ◇洪水ハザードマップ作成／535万円【新規】  
「和歌山県浸水想定区域図」に基づき作成
- ◇消防団多機能型消防車購入／5,200万円【新規】  
消防団の機能強化
- ◇消防救急デジタル無線システム／1億4,440万円【新規】  
災害時のために必要な消防施設の整備
- ◇避難路整備工事／730万円  
津波避難目標地点となる高台への避難路の整備
- ◇退避誘導灯整備／1,359万円【新規】  
市内防犯灯に非常電源付きLED照明灯を整備

## II. まちの強みを活用した地場産業振興



- ◇原産地呼称管理事業／442万円  
平成22年度より実施、市の特産品、特に有田みかんブランドの高品質なものを公的部門が「有田QUALITY」として認定・管理することで、消費者に安心・信頼を与える制度
- ◇地域ブランド推進事業／505万円  
地域ブランドを推進する自治体が連携して地域ブランドの価値を高めるためPR活動を展開するとともに、有田みかんを使ったクリスマススイーツコンテストの開催等地域ブランドを活用することで、地域の活性化に取り組む
- ◇新規就農総合支援事業／525万円  
農林水産省の補助金を活用、新規就農者の支援を図る

## III. 教育の充実 学力向上推進



- ◇情報教育推進のためタブレット機器等導入／2,061万円  
市内小学校の情報教育環境の整備
- ◇ICT活用支援員・学校司書の配置／399万円  
授業の充実、学校図書館の機能強化を図る
- ◇学力調査業務／142万円  
全国学力学習状況調査以外に、小学校4・5年、中学校1・2年を対象に市独自で学力調査を実施
- ◇特色ある学校づくり推進事業／150万円  
各学校が学力向上に向け特色ある取組みを各学校独自で積極的に展開することを支援
- ◇中学生海外派遣研修／353万円  
グローバル化に対応できる次代を担う人材を育成



## IV. 子育て環境の充実

- ◇宮原保育所改修工事／1,162万円【新規】  
0歳児、1歳児の受け入れを拡充
- ◇地域少子化対策強化事業／376万円【新規】  
結婚・妊娠・出産・育児をしやすい地域づくりに向けた環境を整備
- ◇地域子育て支援センター事業／596万円  
子育て支援を行う拠点としての機能充実

## V. 基盤整備

- ◇市道整備／1,900万円  
生活道路の整備等
- ◇交通安全施設整備／3,360万円  
通学路の歩道整備等
- ◇公園施設整備／3,056万円  
公園整地、遊具更新等の長寿命化工事



# 平成26年度 当初予算

本市の平成26年度予算が決まりました。

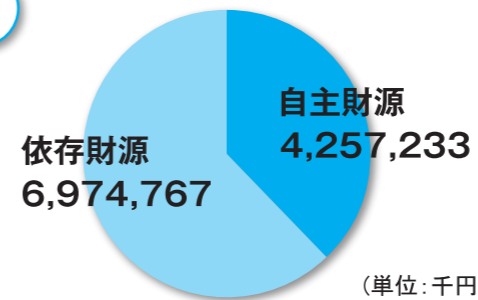
主な会計である一般会計の予算規模は懸案事項であった新消防庁舎建設完了に伴い投資的経費が減少する一方で、防災・減災対策の拡充、職員の大量退職に伴う退職手当や公債費などの義務的経費の増加及び、市立病院繰出金、臨時福祉給付金給付事業費の増などにより前年度比9,100万円増(0.8%増)の112億3,200万円となります。

なお、国民健康保険特別会計他4つの特別会計と水道及び病院事業会計を加えた総額は1億3,022万4千円減(0.6%減)の234億9,038万5千円となります。

### ★各会計予算額

会計別	平成26年度	平成25年度	増減	増減比(%)
一般会計	11,232,000	11,141,000	91,000	0.8
特別会計				
国民健康保険	4,612,377	4,783,388	△171,011	△3.6
初島財産区	4,314	4,312	2	0.0
漁業集落排水	58,395	55,702	2,693	4.8
介護保険	2,978,770	2,865,378	113,392	4.0
後期高齢者医療	676,316	655,069	21,247	3.2
小計	8,330,172	8,363,849	△33,677	△0.4
企業会計				
水道事業	793,537	683,942	109,595	16.0
病院事業	3,137,376	3,434,518	△297,142	△8.7
小計	3,930,913	4,118,460	△187,547	△4.6
合計	23,493,085	23,623,309	△130,224	△0.6

## 歳入



- 自主財源(市税、諸収入、繰入金等) : 37.9%
- 依存財源(地方交付税、国庫支出金、市債等) : 62.1%

### 歳入

◇自主財源 42億5,723万3千円 構成比 37.9%  
(対前年度比 △8億6,064万5千円、△16.8%)

【主なもの】

・市税 : 31億9,900万円 (△1億4,300万円)

◇依存財源 69億7,476万7千円 構成比 62.1%  
(対前年度比 +9億5,164万5千円、+15.8%)

【主なもの】

・地方交付税 : 34億5,000万円 (+4億4,000万円)

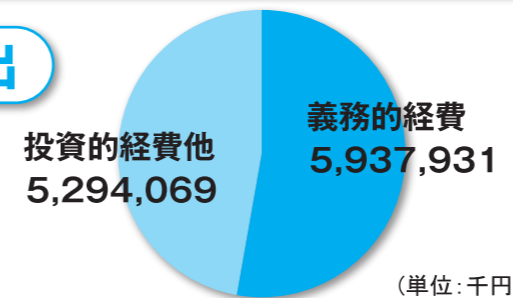
・国庫支出金 : 13億839万4千円 (+1億7,853万2千円)

・県支出金 : 9億7,947万3千円 (△1,978万7千円)

・市債 : 7億8,390万円 (+3億3,390万円)

一般会計 当初予算 112億3,200万円 対前年比 9,100万円(0.8%)の増

## 歳出



- 義務的経費(人件費、扶助費、公債費) : 52.8%
- 投資的経費等その他経費(普通建設事業費、物件費等) : 47.2%

### 歳出

◇義務的経費 59億3,793万1千円  
(対前年度比 +1億9,814万8千円、+3.5%)

・人件費 : 24億1,683万7千円 (+1億1,046万9千円)

・扶助費 : 19億4,644万7千円 (+929万3千円)

・公債費 : 15億7,464万7千円 (+7,838万6千円)

◇投資的経費 4億9,165万6千円  
(対前年度比 △6億6,151万8千円、△57.4%)

・新消防庁舎建設完了に伴い、投資的経費は減少